

News Release

平成 24 年 12 月 5 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

「アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）は、このたび「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」と題した調査レポートを発行しました。

DBJでは、平成24年10月下旬、アジア8地域（韓国、中国（北京・上海）、台湾、香港、タイ、マレーシア、インドネシア）の旅行嗜好や訪日経験の有無によるニーズの変化を把握することを目的に、海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施しました。

調査結果の特徴としては、以下3点が挙げられます。

- (1) 日本旅行の人気はトップクラス
- (2) リピーターには、東京～大阪間のいわゆるゴールデンルートや北海道以外の観光地もよく知られており、そして実際に訪問する意欲あり
- (3) 日本旅行をする際には、言葉とお金（滞在費・渡航費）の問題に加え、地震や放射能について不安があるものの、総じて訪日経験が増すごとに不安は逡減する傾向

また当調査レポート発行と同時に、このうち温泉観光のみを抜粋し、「おんせん県」として観光戦略を推進する大分県におけるインバウンド観光の可能性についても分析し、併せて大分版レポートを発行しました。

当レポートをご希望の方は、DBJウェブサイト「その他レポート」（<http://www.dbj.jp/investigate/etc/index.html>）に、また温泉観光にスポットをあてた大分版レポートについては、「地域・海外レポート（九州）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/kyusyu/index.html>）に掲載しておりますのでご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後も地域の皆様のお役に立てる情報発信に積極的に取り組んでまいります。

【お問い合わせ先】

大分事務所 電話番号 097-535-1411